

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人SKK

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	ITエキスパート学科 ITスペシャルエンジニアコース (ITスペシャリストコース)	夜・通信	1,278 時間	240 時間	
	ITエキスパート学科 Web&動画クリエイターコース (クリエイティブデザインコース)	夜・通信	2,262 時間	240 時間	
	IT・デザイン学科 ドローンエンジニアコース	夜・通信	1098 時間	160 時間	
	IT・デザイン学科 デジタルデザインコース	夜・通信	1,529 時間	160 時間	
商業実務専門課程	総合ビジネス学科 登録販売者コース	夜・通信	1,668 時間	160 時間	
	総合ビジネス学科 医療事務&メディカルスタッフ コース	夜・通信	632 時間	160 時間	
	総合ビジネス学科 ホテル・ブライダルコース	夜・通信	1,580 時間	160 時間	
	総合ビジネス学科 ITオフィスビジネスコース	夜・通信	966 時間	160 時間	
	公務員学科	夜・通信	243 時間	160 時間	※
	公務員速修学科	夜・通信	0 時間	80 時間	※
(備考) 変更					
<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度 「ITエキスパート学科 ITスペシャリストコース」 から 「ITエキスパート学科 ITスペシャルエンジニアコース」 にコース名変更。3年生在籍。 ・2023年度 「ITエキスパート学科 クリエイティブデザインコース」 から 「ITエキスパート学科 Web&動画クリエイターコース」 にコース名変更。3年生在籍。 ・2024年度 「公務員速修学科」 入学生無し 					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページへの掲載

<https://www.net-skk.co.jp/inforelease/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 公務員学科、公務員速修学科

(困難である理由)

公務員試験の合格を目標とするカリキュラム構成となっている。そのため授業科目を教えていくにあたって、多くは公務員の実務経験を必要とするものとは性質上異なる。公務員試験対策の授業経験のある者などによる授業を行うことが目標を実現するにあたって効果的であると考え。よって、実務経験を有する教員による授業科目は配置することは困難である。

実務経験のある教員等の授業科目としては、ビジネスマナーやPCスキルとして記載。

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人SKK

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページへの掲載 https://www.net-skk.co.jp/inforelease/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理美容業務用品総合卸業 代表取締役会長兼社長	2023. 2. 2～ 2025. 2. 1	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	社会福祉法人 理事長	2023. 2. 2～ 2025. 2. 1	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	食品関連卸売業、小売業 代表取締役社長	2023. 2. 2～ 2025. 2. 1	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	建物清掃業、警備業、 一般廃棄物収集運搬業 代表取締役社長	2023. 2. 2～ 2025. 2. 1	学校経営のための 意見・アドバイス
非常勤	教育コンサルティング会社 役員	2023. 2. 2～ 2025. 2. 1	学校経営のための 意見・アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人SKK

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成</p> <p>(2) 2月までに次年度カリキュラムを確定</p> <p>(3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成</p> <p>4月末までに授業計画書をホームページへ掲載</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.net-skk.co.jp/inforelease/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、定期試験、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績の評価は優・良・可・不可の4段階とし、その評価基準は次のとおりとする。</p>		
評価	判定	基準
優	合格	教科に対する理解および日常の授業態度が著しく優秀な者 (定期試験80点以上、且つ教科の出席率85%以上)
良	合格	教科に対する理解および日常の授業態度が良好な者 (定期試験60～79点、且つ教科の出席率85%以上)
可	合格	教科に対する理解および日常の授業態度が妥当と認められた者 (再試験・追試験60点以上、且つ教科の出席率85%以上)
不可	不合格	合格と認められるに足る教科理解と授業態度を示さなかった者 (追試験60点未満、または教科の出席率85%未満)
<p>また、学年毎に、各学生について履修科目の評価を点数化し、4段階評価について、「優」を3ポイント、「良」を2ポイント、「可」を1ポイント、「不可」を0ポイントとして換算する。これに基づき成績分布状況を把握する。</p>		
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>ホームページに掲載 https://www.net-skk.co.jp/inforelease/ 学生の手引き配付</p>	
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業については、授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると卒業基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動を考慮し、卒業認定会議を経て、学校長が認定する。</p>		
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページに掲載 https://www.net-skk.co.jp/inforelease/ 学生の手引き配付</p>	

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	S. K. K. 情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人S K K

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://net-skk.co.jp/inforelease/
収支計算書又は損益計算書	https://net-skk.co.jp/inforelease/
財産目録	https://net-skk.co.jp/inforelease/
事業報告書	https://net-skk.co.jp/inforelease/
監事による監査報告（書）	https://net-skk.co.jp/inforelease/

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	ITエキスパート学科 ITスペシャルエンジニアコース (ITスペシャリストコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2786 単位時間	727 単位時間	1925 単位時間	134 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		43人	0人	6人	6人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>〈授業方法及び内容〉 業務アプリケーション開発、Web システム開発、機械制御システム開発担当者を目指す。システム開発に必要な基礎知識と、ネットワークやセキュリティ、Web プログラミングに関する知識と技術、資格取得を行う。</p> <p>〈授業計画〉</p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成 (2) 2月までに次年度カリキュラムを確定 (3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 (4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。 (2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 (3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 (2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 (3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	5人 (71.40%)	2人 (28.60%)
（主な就職、業界等） システムエンジニア			
（就職指導内容） （1）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （2）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報技術者試験 1名 Webクリエイター能力認定試験 エキスパート 2名 Excel 表計算処理技能検定 1級 6名 Word 文書処理技能検定 1級 1名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	2人	4.76%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） （1）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （2）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （3）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	IT エキスパート学科 Web&動画クリエイターコース (クリエイティブデザインコース)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2745 単位時間	740 単位時間	1932 単位時間	73 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		16人	0人	7人	6人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p><授業方法及び内容> Web 業界で活躍できる Web デザイナーを目指す。デザインに関する知識、動画編集に関する知識・技術、デジタルコンテンツや Web システム開発に関するプログラミング技術と資格取得を行う。</p> <p><授業計画> (1) 1 2 月末までに次年度カリキュラム案を完成 (2) 2 月までに次年度カリキュラムを確定 (3) 4 月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 (4) 4 月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。</p> <p>(2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。</p> <p>(3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100.00%)	0人 (0.00%)
（主な就職、業界等） 広報職、機械設計エンジニア			
（就職指導内容） (1)年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 (2)業界・職種研究の為に企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード 2名 Photoshop クリエイター能力認定試験 スタンダード 1名 Web クリエイター能力認定試験 スタンダード 1名 色彩検定2級 1名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.11%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） (1)小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る (2)遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る (3)カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	IT・デザイン学科 ドローンエンジニアコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1895 単位時間	626 単位時間	1104 単位時間	165 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		8人	0人	6人	3人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>〈授業方法及び内容〉</p> <p>オペレータとしての操作技術と正しい知識を身につけ、多分野で求められるドローン操縦士を目指す。ドローンの操作技術とIT技術、映像編集を学び、技術習得と資格取得を目指す。</p> <p>〈授業計画〉</p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成</p> <p>(2) 2月までに次年度カリキュラムを確定</p> <p>(3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。</p> <p>(4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。</p> <p>(2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。</p> <p>(3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (-%)	0人 (-%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) (1)年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 (2)業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
(主な学修成果（資格・検定等）) Photoshop クリエイター能力認定試験 エキスパート 1名、スタンダード 4名 Excel 表計算処理技能検定 2級 2名 Word 文書処理技能検定 2級 2名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0.00%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) (1)小まめな目標設定と達成の繰り返して、目標を作る (2)遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る (3)カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業分野		工業専門課程	I T・デザイン学科 デジタルデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1781 単位時間	491 単位時間	1277 単位時間	13 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		12人	0人	7人	5人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p><授業方法及び内容></p> <p>印刷物を中心としたグラフィックデザイナーと、Web サイト、Web 広告などを学び、幅広く活躍できるデザイナーを目指す。デザインに関する知識とアプリケーション操作に関する実技と資格取得を行う。</p> <p><授業計画></p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成</p> <p>(2) 2月までに次年度カリキュラムを確定</p> <p>(3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。</p> <p>(4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。</p> <p>(2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。</p> <p>(3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	9人 (81.80%)	2人 (18.20%)
（主な就職、業界等） 制作職、事務職、販売職、総合職			
（就職指導内容） (1)年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 (2)業界・職種研究の為に企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） Illustrator クリエイター能力認定試験 スタンダード 7名 Photoshop クリエイター能力認定試験 エキスパート 1名、スタンダード 3名 Web クリエイター能力認定試験 スタンダード 6名 色彩検定2級 3名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	1人	5.00%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） (1)小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る (2)遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る (3)カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 登録販売者コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1870 単位時間	934 単位時間	897 単位時間	39 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		9人	0人	6人	5人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p><授業方法及び内容></p> <p>ドラッグストア、調剤薬局での登録販売者を目指す。登録販売者試験を中心に、医薬品や販売に関する知識と資格取得を行う。</p> <p><授業計画></p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成</p> <p>(2) 2月までに次年度カリキュラムを確定</p> <p>(3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。</p> <p>(4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。</p> <p>(2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。</p> <p>(3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100.00%)	0人 (0.00%)
（主な就職、業界等） 総合職（ドラッグストア業界）、事務職、調剤事務職			
（就職指導内容） (1)年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 (2)業界・職種研究の為に企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 登録販売者試験 5名 調剤事務管理士技能認定試験 5名 薬学検定 3級 5名 日本化粧品検定 4名 食の薬学検定 1級 5名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	1人	8.33%
（中途退学の主な理由） 病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） (1)小まめな目標設定と達成の繰り返して、目標を作る (2)遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る (3)カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 医療事務&メディカルスタッフコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1816 単位時間	614 単位時間	1169 単位時間	33 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		14人	0人	6人	4人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p><授業方法及び内容></p> <p>病院、クリニック等での医療事務、医師事務作業補助を目指す。診療報酬の算定、レセプトの作成、接遇等に関するの知識と資格取得を行う。</p> <p><授業計画></p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成</p> <p>(2) 2月までに次年度カリキュラムを確定</p> <p>(3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。</p> <p>(4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。</p> <p>(2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。</p> <p>(3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100.00%)	0人 (0.00%)
（主な就職、業界等） 医療事務			
（就職指導内容） （1）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （2）業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務技能審査試験 医科 3名 医療事務作業補助者検定試験 3名 医事コンピュータ技能検定試験 2級 3名 電子カルテ実技検定試験 3名 診療報酬請求事務能力認定試験 医科 2名 調剤事務管理士技能認定試験 3名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0.00%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） （1）小まめな目標設定と達成の繰り返して、目標を作る （2）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （3）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 ホテル・ブライダルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1801 単位時間	956 単位時間	718 単位時間	127 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		8人	0人	6人	4人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>〈授業方法及び内容〉 ホテルスタッフ・レストランサービススタッフ、ウエディングプランナー、ドレスコーディネーター等を目指す。ホテル業務、ブライダル業に関する知識、料飲サービス、プランニング、外国語に関する実技と資格取得を行う。</p> <p>〈授業計画〉</p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成 (2) 2月までに次年度カリキュラムを確定 (3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。 (4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。 (2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。 (3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。 (2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。 (3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100.00%)	0人 (0.00%)
（主な就職、業界等） ウェディングプランナー、サービス職、接客、営業職			
（就職指導内容） (1)年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 (2)業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ウェディングプランナー認定試験 4名 ホテル実務技能認定試験 上級 4名 インバウンド接客外国語検定（中国語） 4名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	2人	22.22%
（中途退学の主な理由） 病気療養 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） (1)小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る (2)遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る (3)カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業分野		商業実務専門課程	総合ビジネス学科 ITオフィスビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1786 単位時間	791 単位時間	992 単位時間	3 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		19人	0人	7人	4人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p><授業方法及び内容></p> <p>企業の総務・経理・営業補助や販売員の就職を目指す。パソコンスキル、簿記、販売知識、コンピュータ知識や情報セキュリティ、ビジネスマナー等に関する知識と資格取得を行う。</p> <p><授業計画></p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成</p> <p>(2) 2月までに次年度カリキュラムを確定</p> <p>(3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。</p> <p>(4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。</p> <p>(2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。</p> <p>(3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 (0%)	8人 (100.00%)	0人 (0.00%)
（主な就職、業界等） 総合職、一般事務職、技術職			
（就職指導内容） (1)年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 (2)業界・職種研究の為の企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 秘書検定試験 2級 4名 Word 文書処理技能認定試験 1級 1名、2級 4名 Excel 表計算処理技能認定試験 1級 1名、2級 4名 日商簿記検定試験 3級 2名 ビジネス文書技能検定試験 2級 1名 ビジネス実務マナー検定試験 2級 1名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	2人	10.00%
（中途退学の主な理由） 病気療養		
（中退防止・中退者支援のための取組） (1)小まめな目標設定と達成の繰り返して、目標を作る (2)遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る (3)カウンセラーによるカウンセリングの実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業分野		商業実務専門課程	公務員学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2379 単位時間	1170 単位時間	1206 単位時間	3 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		11人	0人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p><授業方法及び内容></p> <p>国家・地方公務員試験に出題される教養試験、面接・作文対策を主とした授業。2年間でじっくりと学ぶ。その他、社会人として必要なビジネスマナー、会計業務、書類作成に必要なPCスキルを習得する。</p> <p><授業計画></p> <p>(1) 12月末までに次年度カリキュラム案を完成</p> <p>(2) 2月までに次年度カリキュラムを確定</p> <p>(3) 4月中旬までに、各学科の科目担当教員が授業計画書を作成。</p> <p>(4) 4月末までに授業計画書をホームページに掲載</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績の評価については、以下の方法・基準に沿って行う。</p> <p>(1) 成績の評価は、「優・良・可・不可」の4段階とし、「可」以上を合格とする。</p> <p>(2) 成績評価は、科目ごとに出席状況、期末テスト、学習態度、課題提出状況を含め、総合的に評価する。</p> <p>(3) 科目の出席率が85%以下の場合、点数に関わらず「不可」とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>授業全体における出席率が85%未満、また、1教科でも不可評価があると基準を満たしていないこととする。ただし、平素の学習状況や、インターンシップ・ボランティア・同好会・生徒会・コンテストや大会の入賞等の課外活動状況を考慮し、認定会議を経て、学校長が認定する。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>(1) 各学科で担当を配置し、学習面・生活面・就職面等のフォローを行い、状況に応じて、保護者を含めた面談を行っている。</p> <p>(2) 専門的な知識、技術を有する授業については外部講師等を用い、専門性に特化した授業を行っている。</p> <p>(3) 実習については、企業と連絡を取り合い、学生の状況を共有し、指導に役立てている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	4人 (80.00%)	1人 (20.00%)
（主な就職、業界等） 国家公務員、地方公務員			
（就職指導内容） （1）年間を通して、筆記試験対策・面接練習等の実施。 （2）業界・職種研究の為に企業講話・ガイダンスの実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 公務員試験合格 4名 ビジネス実務マナー検定 3級 3名 Word 文書処理技能検定 2級 1名、3級 3名 Excel 表計算処理技能検定 1級 2名、2級 1名、3級 2名			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	0人	0.00%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） （1）小まめな目標設定と達成の繰り返しで、目標を作る （2）遅刻欠席が目立つ学生は保護者面談を行い、家庭での協力を得る （3）カウンセラーによるカウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
I Tエキスパート学科	150,000 円	600,000 円	300,000 円	その他：教育充実費
I T・デザイン学科	150,000 円	600,000 円	300,000 円	その他：教育充実費
総合ビジネス学科	150,000 円	600,000 円	300,000 円	その他：教育充実費
公務員学科	150,000 円	600,000 円	300,000 円	その他：教育充実費
公務員速修学科	150,000 円	600,000 円	300,000 円	その他：教育充実費
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページへの掲載 https://www.net-skk.co.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校が行った自己評価の結果を学校関係者評価委員に報告し、意見をいただき、その意見をもとに教育活動及び学校運営に活用することを基本方針とする。 評価項目は、自己評価、学生数状況、就職状況、離職状況等。 学校関係者評価委員は、本校と関わりのある業界関連企業、本校卒業生にて構成する。 評価の活用にあたっては、責任者である校長の指揮のもと、各部署責任者が方法・期間等を検討し、次年度の学校運営及び教育内容の改善に反映する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
企業経営者 (サービス系)	2023. 4. 1～ 2027. 3. 31	企業等委員
企業経営者 (サービス系)	2023. 4. 1～ 2027. 3. 31	企業等委員
企業経営者 (医療・福祉系)	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	企業等委員
企業経営者 (販売系)	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	企業等委員
弘前市議会議員	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	企業等委員
S. K. K. 情報ビジネス専門学校 同窓会会長	2024. 4. 1～ 2028. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページへの掲載 https://net-skk.co.jp/inforelease/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページへの掲載 https://net-skk.co.jp/inforelease/ 学校案内の配付
--